

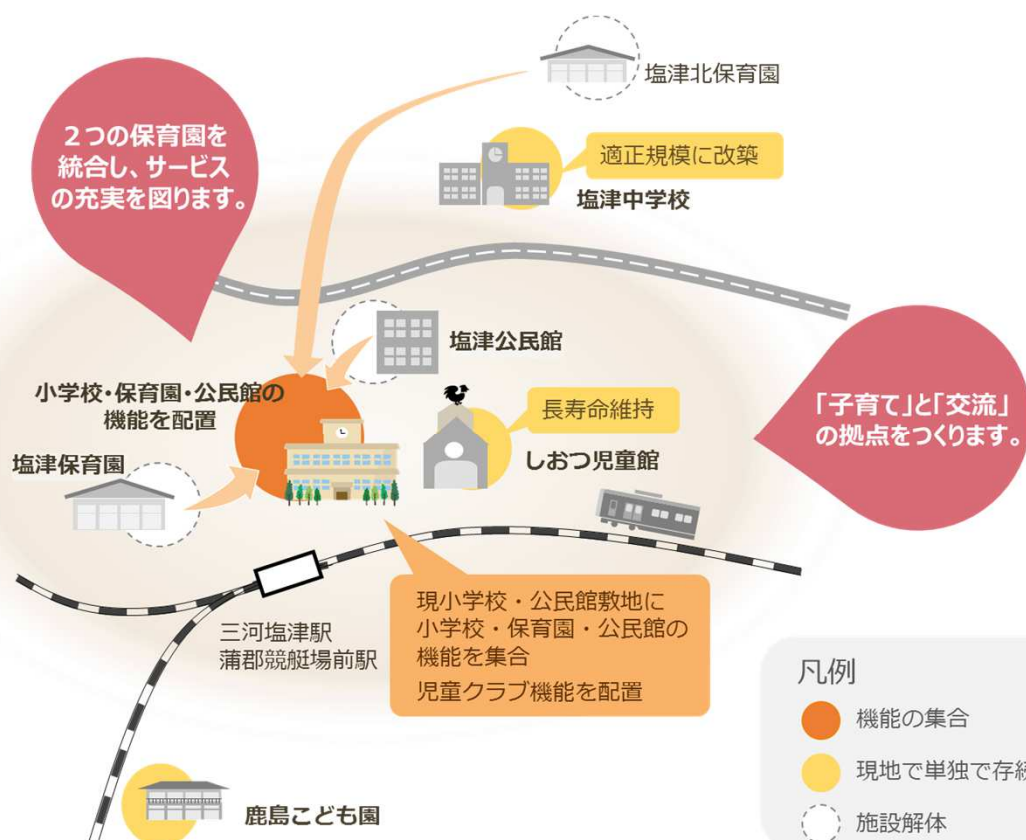
蒲郡市公共施設マネジメント実施計画に基づく 塩津地区個別計画

コンセプト

集まりやすい位置に
「子育て」と「交流」
の拠点をつくる

施設再編 の内容

- 小学校・保育園・公民館の機能を現在の塩津小学校と塩津公民館の敷地に集合させ、「子育て」と「交流」の拠点を形成します。
- 塩津保育園と塩津北保育園は統合し、低年齢児保育と延長保育が実施可能な規模の保育園を整備します。
- 児童クラブの機能は、小学校と同じ敷地に設けます。
- 塩津中学校は、現地で適正規模に改築します。
- しおつ児童館は、現地で長期にわたって利用できるよう適切に維持していきます。



期待される 効果

子育て環境の充実

- 保育園を統合・適正規模化し、設備や職員を充実させることで、新たに低年齢児保育や延長保育を実現することが可能となるとともに子ども同士や保護者同士の交流が広がる。
- ニーズに対応できる規模の児童クラブを小学校と同じ敷地に設置することで、交通事故などの移動時の危険が無くなるうえに、地域サークルとの連携など活動の充実が期待できる。
- 児童クラブと保育園が近くにあることで、保護者による送迎等の負担が軽減する。
- 保育園と小学校が連携しやすく、子どもの進学がよりスムーズになる。

交流の活性化

- 集まりやすい位置に日常的に多くの人が訪れる拠点ができることで、地区住民同士の交流や年齢の近い子ども同士の交流が活発になる。
- 地区の運動会など行事や活動の際に、体育館やグラウンドなどの学校施設を利用しやすくなり交流機会が充実する。

活動の拡大・充実

- 施設や設備の相互利用や運営面での連携により、特別教室での地域活動など、各施設の活動の幅が広がる。
- 高齢者が子どもに昔の遊びを教えたり読み聞かせをする機会など、利用者の活動機会が増える。

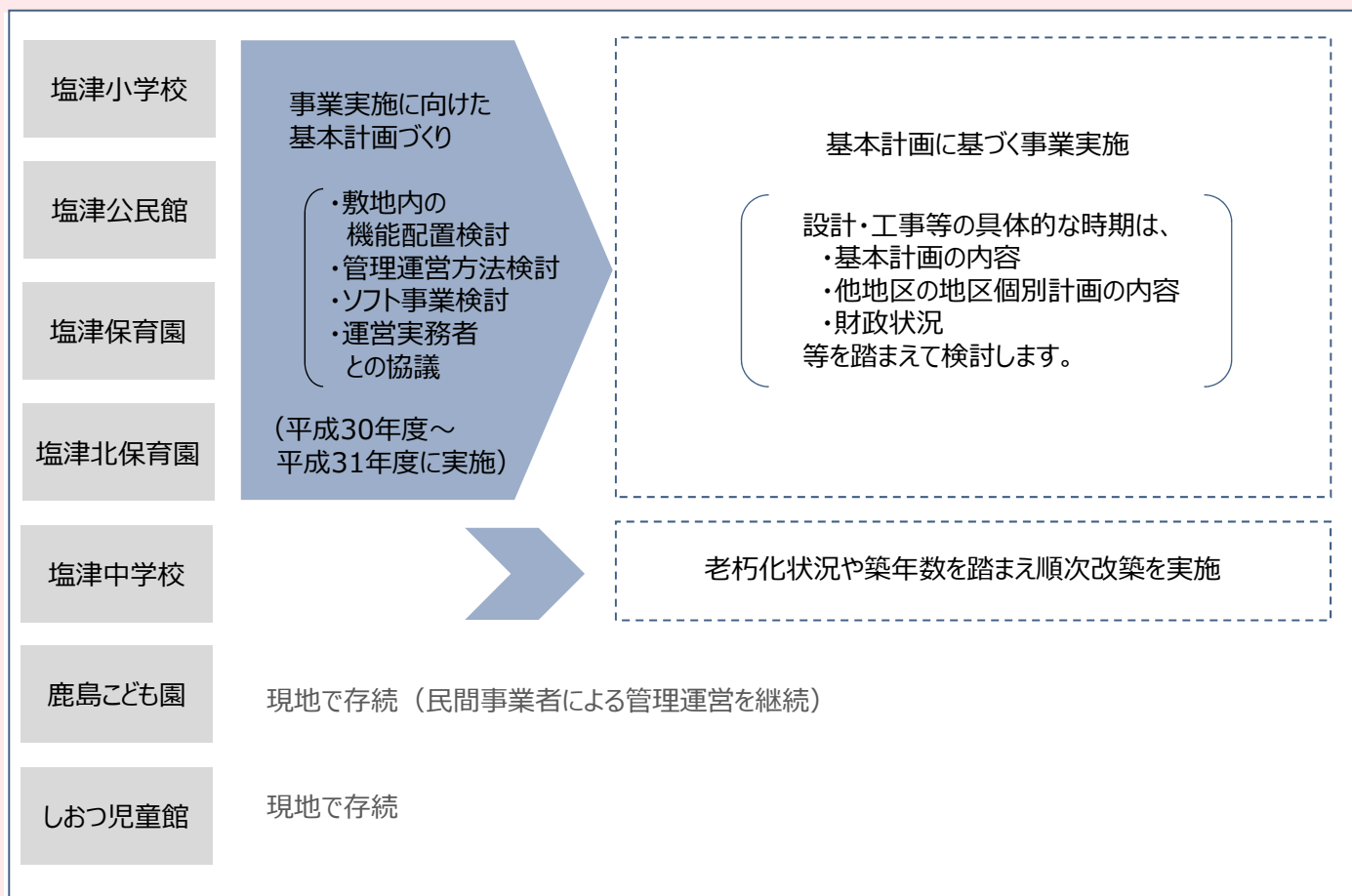
費用の縮減

- 施設の共用や規模の適正化により維持更新費用が縮減できる。また、運営の効率化や一元的な管理により、運営面での費用の縮減が可能となる。

- 詳細な検討を行う中で、駐車場・グラウンドなど、必要な機能を確認し、機能の維持に努めます。
- 子どもの安全確保や学校教育に支障が出ないように十分に配慮して、施設の設計や運営方法の検討を進めます。
- スペースの相互利用や運営での連携が円滑に行われるよう設計上の工夫を行います。
- 学校と地域の連携を深め、交流を促進できるよう、人員体制や運営体制を整えます。

整備を 進める上で 配慮すること

施設整備についての今後の取り組み



本計画の見直しについて

- 本計画は、今後の社会状況、経済・財政状況、ニーズの変化に対応するため、見直しを行い内容を変更する場合があります。



蒲郡市公共施設マネジメント実施計画に基づく塩津地区個別計画

発行 愛知県蒲郡市
 愛知県蒲郡市旭町17番1号
 TEL 0533-66-1111（代表）

発行年月 平成30年8月



地区の皆様の思い

蒲郡市では、小中学校・保育園・児童館・公民館の再編にあたり、地域の特性や特徴を施設に反映し、再編がまちづくりにつながるように、地区の住民の皆様のご意見を伺う機会を設け、市民協働により、中学校区を単位とした「地区個別計画」を策定することとしています。

塩津地区の皆様のご意見を伺う機会として、「塩津地区まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ」を平成29年7月から平成30年2月にかけて開催しました。また、オープンハウス（パネル展示型説明会）を地区内2会場で開催し、ワークショップ参加者以外のご意見を広く伺いました。

地区の皆様のご期待をもとにして、市は、この「塩津地区個別計画」を策定しました。

以下は、塩津地区の将来を考える上で重視することとしていただいたワークショップに参加された皆様のご意見です。

子育て環境の充実

- ・地区内の公立保育園は3歳未満児の保育や延長保育が実施されていないので、利用者が少ない。
- ・地区内の保育園に通わせることができると小さいときから子どもの交流ができて安心。
- ・児童クラブの定員がいっぱいで入れなかったり、1年生だけは保育園で過ごさないといけない現状を改善してほしい。

子どもたちの交流

- ・保育園や小中学校の複合化により、異なる年齢の子どもたちの交流ができるとよい。
- ・保育園の統合や小学校との複合化により、イベントを合同で実施でき、賑やかになりそう。

多様な方々の交流

- ・公民館と学校や保育園を複合化することで、多世代交流が生まれ高齢者の生きがいにもつながる。
- ・公民館を多世代・多国籍の集まる施設にしたい。

地域・交流の拠点

様々な方が使いやすい施設

- ・交流の場は、高齢者や障がい者も使いやすい方がよい。

施設の相互利用

- ・公民館活動で学校の体育館やグラウンド、調理室が利用できるとよい。

地域活動の拠点

- ・地域の行事や活動を一体的にできる場作りが必要。
- ・学校を核に地域の拠点を作れば子どもから大人まで集まるのではないかな。

学校の機能確保

- ・学校の教室以外（体育館・グラウンドなど）で行う体育や部活などが十分にできるかが重要だ。
- ・中学生が学習に集中できる環境が大切。

子育て

通学しやすさ

- ・小学校が中学校の敷地に移転すると、鹿島や拾石の子どもたちの通学が大変になってしまう。

送迎の利便性

- ・塩津保育園は山の上であり不便。
- ・保育園や児童館、小学校は小さい子を持つ親にとって送迎しやすい立地にしてほしい。
- ・保育園と小学校が一緒にあると送迎が楽になり、負担が少なくなる。

施設へのアクセス

アクセスしやすい場所

- ・小学校周辺は地区内で一番アクセスがよいので、利便性が高い。
- ・高台に公民館があると移動が難しい。
- ・高齢者や車を使わない人のために公民館は駅の近くがよい。

集まりやすい場所

- ・地区の中心に位置していると人が集まりやすい。

子どもの安全

- ・通学と保育園の送迎の車が混ざると危険。

防災

- ・災害時と日常の利便性が取れたプランが考えられるとよい。

安全

機能の確保

- ・どんなプランでも体育館や駐車場などの機能が十分に確保されることが重要。

- ◆ ワークショップでのご意見の詳細やオープンハウス（パネル展示型説明会）でのご意見等は、市ホームページに掲載しています。